

# 早期なら7~8割は離脱可能



必ずしもそうとはいえず、ケース・バイ・ケースだ。

例えば過食や運動不足で血糖を抑えるインスリンが分泌されなかったり、効きづらくなる2型糖尿病で、インスリン注射を20~30年打ち続けている人を考えてみよう。

こういう人はインスリンを分泌するための膵臓のβ細胞が疲弊し、インスリンが全く出ない1型糖尿病の状

## 辛 浩基 しんクリニック院長

東邦大 医学部卒、医学博士。東邦大医学部付属大森病院 第2内科勤務、蒲田医師会理事、日本糖尿病学会認定医。

態に近くなっている。インスリン注射なしでは、高血糖状態が続き、さまざまな合併症を引き起こす。残念ながら、インスリン注射を一生継続するほかない。しかし、インスリン注射を打ち始めて1~2年程度ならどうか。若い人ならインスリン注射から離脱すること

は7~8割可能だといえる。「血糖の毒性が取れて、膵臓の働きが回復しているケースがあるからです。実際、40代

インスリンを出させる薬などを組み合わせる。では、どういうタイ

「ひとつは、強化インスリン療法を行って、射の回数を減らし、そのぶんはインスリンの基礎分泌だけでなく、食後に追加分泌を

め、1日に何回もインスリン注射を打つやり方です。十分にインスリンを補うため、人に

「インスリン治療をする」ため、インスリン注射をやめて飲み薬になったからといって糖尿病が良くなったわけではない。あくまでも

注射を打つのが難しい、など事情のある人に対する治療法であることを忘れずに。



一度インスリンを始めると一生使い続けなければならぬ

注射を打つのが難しい、など事情のある人に対する治療法であることを忘れずに。